

<h1 style="font-size: 2em;">所報 すくも</h1>	<p><b>発行 宿毛市教育研究所</b>          宿毛市長田町 3-80-11(宿毛市教育委員会内)          TEL 63-1127 FAX 62-0076          E-mail <a href="mailto:sukumo-l@city.sukumo.lg.jp">sukumo-l@city.sukumo.lg.jp</a> (LGWAN 系)  <a href="mailto:sukumo-l@kochinet.ed.jp">sukumo-l@kochinet.ed.jp</a>          URL <a href="http://www.kochinet.ed.jp/sukumo-l/">http://www.kochinet.ed.jp/sukumo-l/</a></p>
---	---

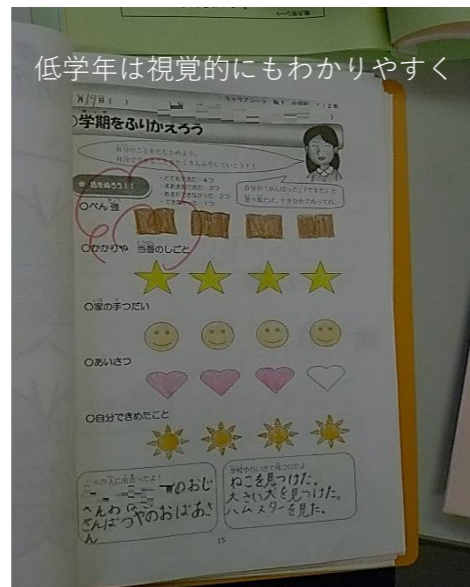
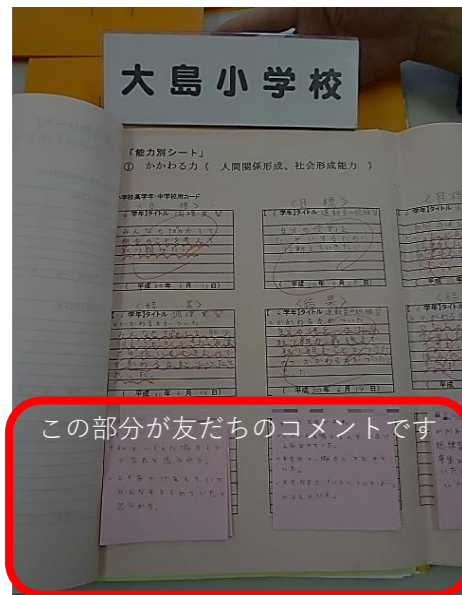
## キャリア教育の取り組み

宿毛市ではキャリア教育目標を「夢や志を育み、かなえる力の育成」とし、「ふるさと宿毛を愛し誇りに思い、夢や志を抱き、かなえるための力(かかわる力、みつめる力、やりぬく力、かなえる力)をもつ子ども」をめざす子ども像として取り組んでいます。

今年度もキャリア教育担当者会議(年3回)で、各校の取り組みを持ち寄り、9カ年の成長を見通してキャリア教育を進められるよう情報交換しました。

### \*キャリアノートへの記入の時間をどう確保しているか？

授業や活動が終わった時に書かせている、という学校が多いです。大島小学校では帰りの会などで時間を取り、行事や授業の後すぐ書かせているそうです。コメントは教員が書くこともありますが、子どもたち同士で見合っ、付箋に書いた物を貼るよう取り組んでいます。子どもたちの言葉はスッと心に届きやすいようで、好評ということです。橋上小学校でも学期の終わりに子どもたち同士で見て、コメントを書き合っているそうです。



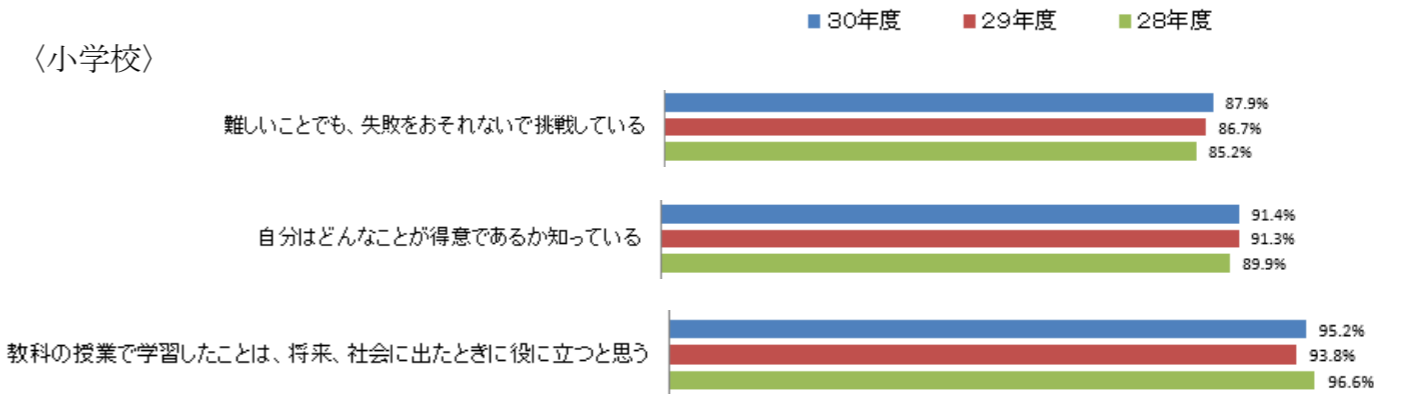
### \*校内でキャリアノートの書きぶりの共有などはどうしているか？

昨年度の課題では、学年や学級での共有はできているが、全体ではなかなか機会を設けにくいという声がありました。子どもたちの書きぶりや成長、書かせるタイミングを共有するために、各校で工夫して教職員間の交流の時間を設けています。宿毛小学校では、長期休業中にファイルを展示してもらい、時間設定をして見合ってもらい、その後の校内研で交流を行っています。また校内だけではなく、校区で見合う取り組みも進んでいます。

### \*ファイルに綴じているものの精選はどうしているか？

学年が上がるごとに書きためたものを積み重ねていくため、中学校に入学するころにはとても厚いファイルとなっていきます。また担当学年以前のものを取捨選択することは難しい、という意見があります。残していくものの大きさや内容の確認が必要ですが、この点については今後の研究課題の一つです。

平成28年度～30年度 キャリアアンケート肯定的回答比較より



少しずつ伸びてきています。日々の授業や行事、生活の中での声かけや対応が要因の一つと考えられます。



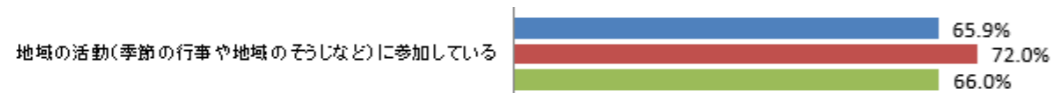
数値は下がっていますが、こういった状況でどんなことが守れていないのか、あるいは守れているのか、学校ごとに中身をしっかりと見極める必要があります。



〈中学校〉



肯定的評価が増えています。感謝の気持ちを持ちながら日々を過ごす。うれしいことですね。



「地域の行事に参加している生徒は多いのに、数値が低い・・・」とアンケート後聞き取りをしたところ、「本当だ、あのお祭りや清掃活動にも参加してるね」と、子どもたちの気付きがあった、という学校もありました。日頃の生活とキャリアの視点を結び付けてあげる、というのも大切です。



中学校では進路選択が目前となり、夢や目標に具体性や実現性が求められるようになります。迷ったり悩んだときこそキャリアファイルを開いて、夢を志したときの気持ちを思い出したり、たくさんある中から適性に合った進路選択ができるように活用していきたいですね。

東中学校区では資料の引き継ぎの際、6年生の担任が中学校の教員にキャリアファイルを直接手渡ししているそうです。31年度4月から中学生になる子どもたちは、小学校2年生から書いたためたキャリアファイルを持って入学してきます。小さい頃からの学習や成長、思いを、子どもたちの言葉がいっぱいのファイルで引き継いでいけるのは素敵ですね。中学校ではそれらを受け止め、上級学校や社会につなげていきます。

心の成長は見えにくいものですが、ときどき自分の足あとを振り返ることで、今の成長を確かに感じるができると思います。

キャリア教育は特別ではなく、視点を入れて、意識して取り組むことで変わってくるもの。宿毛市で教育を受けた子どもたちがこれから先の人生を心豊かに生きていけるよう、キャリア教育の実践に取り組んでいきましょう。



## 英語教育推進事業の取り組み

平成29年度コアエリア推進事業に続き、今年度宿毛市では英語指導教員配置による、英語教育推進事業を進めてきました。

担当者会では、児童生徒および小学校担当教員の意識調査の結果から検証を行い、各校での取り組みに活かしてきました。中でも教員のアンケート項目「(授業を)自信をもって指導している」の肯定的回答は年度当初に比べ 24.6 ポイント向上しました。各校の外国語担当が研修での学びを持ち帰り、校内研修を中心に研究実践を重ねてきたこと、外国語指導教員が授業から校内研修まで参画し、授業づくりについて一緒に取り組んだこと等が要因であると思われます。小小連携・小中連携については各校とも計画通りに実施することはできましたが、外国語教育における効果的な連携を実感するためには、なお研究が必要であると考えられます。

以上のことから、年度最後の会では、来年度に向けてさまざまな取り組みのアイデアが出されました。

小小連携・小中連携の取り組みとして

- ・外国語の授業をお互いに見合ったり、出張授業をする
- ・小学校、中学校の授業参観をする
- ・中学校の教員が入っての外国語授業
- ・教える、使う表現の統一「これは押さえておこう！」
- ・中学校体験入学での合同授業
- ・英語での通信
- ・小学校への出前授業の回数を増やす



宿毛市では市の担当者会だけではなく、市教研外国語部会にて、Small Talk のトピック・進め方の実践講座や公開授業が行われました。また小学校外国語授業づくりワークショップでは、動画を通じた授業実践から多くのことを学ぶことができました。このように学び合える環境を生かして、今後さらに研究を進めていきましょう。

